

(広報資料)

令和元年12月17日
京都市総合企画局

プロジェクト推進室
プロジェクト推進第四担当
TEL 222-3992

西陣を中心とした地域の活性化を目指し
路地の魅力を発信！

温故**創**新・西陣

「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」に係る 第一次選考通過作品の決定について

京都市では、平成31年1月に策定した「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」を推進するためのプロジェクトの一つとして、西陣で路地に着目した取組を実施している「特定非営利活動法人アニュアル ANEWAL Gallery」が「京町家・路地の魅力を活かしたまちづくり」等に取り組む「路地から始める西陣暮らし」プロジェクトを展開しています。

本プロジェクトの取組として、「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」を実施しており、全国から多数の作品の御応募をいただきました。

この度、第一次選考（一般投票及び審査員による審査）を実施し、最終選考の対象とする作品を選定しましたので、お知らせします。

1 応募総数

令和元年10月1日（火）から11月4日（月・休）までの間、「路地の家具」のデザイン（作品パネル）を募集し、海外を含む全国から75点の作品の応募がありました。

2 第一次選考の概要

「一般投票会」を開催し、御応募いただいた作品パネルを展示して、一般の方々に投票していただき、得票数1位の作品を最終選考の対象作品としました。これに、残る作品から審査員の審査による上位3作品を合わせた、合計4作品を最終選考の対象としました。また、佳作9点を選定しました。

※ 「一般投票会」について

日 時 令和元年11月15日（金）

16日（土）

会 場 京都信用金庫西陣支店2階
クリエイティブコモンズ「NISHIJIN」

参加者 2日間で105名の方が投票



3 第一次審査を通過した作品（最終選考対象作品）

「DANDANYARAI（だんだん矢来）」 ※ 一般投票1位
（京都美術工芸大学 工芸学部 青木 遥さん）

「Extension Furniture -路地のための増築家具-」
（建築家 井上 湖奈美さん）

「逆叉-sakamata-」
（信州大学 総合理工学研究科工学専攻 建築学分野 上田 春彦さん）

「路地の置縁」
（愛知淑徳大学 久保井 聡さん）

4 今後について

最終選考対象作品に選ばれた4作品について、応募者に実物を制作していただき、3月に予定している最終選考会において審査し、最優秀賞及び優秀賞を選定します。

また、最優秀賞、優秀賞及び佳作に選ばれた作品については、表彰式で表彰するとともに、入賞作品展において展示します（佳作はパネル展示のみ）。

なお、最終選考会、表彰式及び入賞作品展の詳細については、後日、発表します。

【参考】「西陣「路地の家具」デザインコンペティション 2019」の概要

1 開催趣旨

西陣の路地に設置する「路地の家具」のアイデアを全国から募集するもの。

このコンペの開催を通じて、西陣に今なお数多く残る路地のクリエイティブなイメージを発信することにより、住まいや制作環境として西陣の路地に注目を集め、今後、西陣を拠点として活動し、地域活性化の担い手となり得る若手クリエイター等を発掘し、地域に呼び込むことを目指す。

2 応募資格

- ・ 応募時の年齢が18歳以上39歳以下の個人であること。
- ・ 日本語でのコミュニケーションが可能であること（国籍不問）。

3 募集期間

令和元年10月1日（火）から11月4日（月・休）まで

4 選考方法

(1) 第一次選考

提出された作品パネルにより、公開審査を実施

一般投票と審査員による審査により、最終選考対象作品4点及び佳作を選定

※ 最終選考対象作品に選ばれた応募者は、実際に作品を制作（制作補助費5万円を支給）

(2) 最終選考

実際に制作された作品を、応募者によるプレゼンテーションを踏まえて審査し、最優秀賞を選定

5 審査員

高田 光 雄（京都美術工芸大学工芸学部教授）

奈良 磐 雄（公益社団法人京都デザイン協会代表理事，
特定非営利活動法人京都西陣町家スタジオ代表理事）

水野 歌 夕（写真家，町家写真館館長）

山本麻友美（京都芸術センター チーフプログラムディレクター）

吉田 創 一（株式会社フラットエージェンシー代表取締役）

6 表彰等

- (1) 最優秀賞 《1点》 賞金10万円，賞状，本市イベント等での展示
- (2) 優秀賞 《3点》 記念品，賞状，本市イベント等での展示
- (3) 佳作 《数点》 賞状

7 主催

京都市・特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery

◆「路地の家具」とは・・・

伝統的なものとしては、町家の軒先に置かれる「床几」や「ばったり床几」と呼ばれるものがあります。人々が腰掛けて、夕涼みをしたり、世間話をしたりと、心和むようなコミュニケーションの場となっていました。

このコンペでは、路地の雰囲気にもマッチする現代的な感覚の作品の応募も期待しています。



町家に設置されているばったり床几

◆「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト

西陣を中心とした地域に今も数多く残る路地を、ポジティブな観点で再評価し、活用することにより、この地域の活性化につなげることを目的とするプロジェクト。

路地は、通路が狭いことから、防災上の問題や、家屋の再建築が困難であるなどの課題がある一方、車が入れないことから安全性が高く、家賃も比較的安価であるなどの魅力もあります。

こうした路地の特性を踏まえ、路地を活用したイベントの実施や、その魅力の発信等により、子育て世代や若手クリエイター等の路地への移住促進を図るとともに、この地域に息づいてきた暮らしの文化の継承と、路地を核とした創造的環境の整備等に取り組んでいきます。

